

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立台場高齢者在宅サービスセンター									
指定管理者	医療法人財団百葉の会									
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日									
募集方法	公募	グループ化の有無	－	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	－			
施設所管課	保険福祉支援部高齢者支援課									

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	25	14	11	0				25
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度		備 考	
正規・非正規職員の退職者数	6	4	4				退職者4名のうち派遣3名期間満了	

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
延利用者数（人）	6,291	4,745	7,298			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	154,178,995	150,036,081	156,644,154	0	0	
	指定管理料（清算後）	95,645,840	100,974,840	92,359,406			
	利用料金収入	57,951,954	48,323,781	64,134,740			
	その他収入	581,201	737,460	150,008			
	支出	142,325,422	154,307,509	161,908,770	0	0	
	職員人件費	75,717,814	86,381,373	105,419,331			
	光熱水費	15,879,012	11,956,444	14,224,951			
	修繕費	1,966,580	4,021,072	3,858,800			
	事業運営費	19,100,958	22,854,561	21,911,842			
	施設管理経費	21,857,380	20,049,583	8,114,470			
	その他経費	7,803,678	9,044,476	8,379,376			
	差引収支額	11,853,573	-4,271,428	-5,264,616	0	0	
	年度協定書で定める指定管理料	112,557,685	124,975,565	101,837,473			

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	3 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						90 / 100

【各項目の評価について】
5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	今年度は稼働率向上を目指し、範囲を広げて営業活動を行いました。その結果、毎月継続して新規利用者を獲得することができました。地域の引きこもり高齢者や呼び寄せ介護の方々に着目し、台場の高齢者センターを知っていただく機会として、デイサービスの食事を紹介する「ランチ会」イベントを開催しました。参加者の中には、デイサービスへの相談や新規利用につながった方もいました。高齢者を中心とした子供たちへのボランティア企画や外出企画なども好評でした。今後も地域との関わりを深め、アンテナを広げることで情報収集に努め、新たに地域を支える基盤づくりを目指します。職員一丸となって、自らが通いたいと思える施設づくりに取り組んでいきます。
区（施設所管課）による評価	前年度の大規模改修工事による影響を乗り越え、利用者数を着実に回復させ、改修工事前の実績を上回る結果を残したことは、大いに評価できます。特に、地域の引きこもり高齢者や呼び寄せ介護層へのアプローチ、「ランチ会」などの工夫ある営業活動が成果を上げており、地域とのつながりを意識した運営姿勢がうかがえます。次年度以降も、地域連携を更に深め、継続的な利用促進と職員のモチベーション維持に取り組めるよう、区として助言・指導します。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価	S
--------------------	---

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】
S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）